

別紙

第三次魚沼市総合計画（案）に対する意見の内容と市の考え方

◆意見の反映状況

I 反映するもの II 一部反映するもの IIIすでに反映しているもの IV今後の検討課題とするもの V記述を変更しないもの

No.	箇所	意見の概要	市の考え方	反映状況
1	第1編 第1章 計画策定の背景と目的 (P1)	人口減少社会に触れられており、その通りだと思いました。	いただいたご意見のとおり、人口減少社会を見据えながら、市民が安心して暮らし続けられる地域社会の実現を目指して、施策を展開していきます。	III
2	第1編 第2章 計画の期間 (P2)	5年ごとに見直しを図るとあるが、5年にこだわらず、「新たに取り組むべき事項や社会情勢・環境の変化などにより計画の見直しが必要な事項が生じた場合は必要に応じて見直す」などとし、柔軟な対応ができるようにしていただきたい。	総合計画の基本計画については、大局的な見地によるまちづくりの方向性を示すものであるため、5年ごとに見直しを行うこととしています。また、社会情勢の変化等により新たに取り組むべき事項が生じた場合には、毎年度の実施計画見直しにおいて、対応することとしています。	V
3	第2編 第2章 将来目指す姿 (P5)	魚沼市の将来目指す姿「ひとり一人の笑顔がかがやき、幸せを感じられる魚沼市」についてです。ふるさと納税拡大で、市の財源を増やす。魚沼市を知って頂く「魚沼 IC 名称変更」「新潟ふるさと CM 大賞」等の活用により人流拡大を図る。など、市民に「笑顔かがやく増収計画」が、項目にあっても良かったと思います。	ふるさと納税の活用や情報発信による市の認知度向上は、財源確保や交流人口の拡大に寄与する重要な取組であると認識しています。総合計画に直接的な表記は設けておりませんが、これらは今後の実施計画や個別事業の中で取り組んでいくこととしています。	V
4	第2編 第4章 基本目標の図 (P8)	市民協働と行政運営がまちづくりの土台という考え方に賛成です。ただ市民協働の組織としてコミ協の他に何を想定しているのかがよくわかりません。総合計画説明会の参加市民の少なさにも不安を感じています。まちづくり委員会にも参加したのですが、人数は少なく、市役所の来賓（オブザーバー？）的参加も気になりました。コミ協や自治会以外の市民組織（住んでいる	市民協働のパートナーについては、コミュニティ協議会、自治会のほかに、NPO 法人、学校、個人などを含めて、地域づくりに関わる様々な方々を想定しています。 また、市民組織については、自発的な活動を期待するものであり、市が設立を強要したり、育成するものではないと考えております。市民の皆様が過度な負担を感じないような協働の取組を	V

No.	箇所	意見の概要	市の考え方	反映状況
		地域の集まり以外の組織)があるのか、今後育てていくつもりなのか知りたいです。	推進していきます。	
5	第2編 第4章 1 子育て・教育・文化 (4)文化・スポーツ (P10)	市民が生涯にわたり、スポーツに親しむ機会を提供する事により、健康で活力ある生活を送る事ができる環境づくりはとても大切だと思います。合併20年が過ぎ、運動できる施設、場づくりの取組みが少ないと思います。今、少子高齢化と地球温暖化(酷暑)は大きな問題で、これからずっと続く課題だと思います。 魚沼市の高齢人口は現在40.9%、10年後は44.6%で県や国の平均よりかなり高いです。又、高齢者の医療費、介護費の増加も財政負担の大きな問題になっています。高齢者は健康寿命の延伸を切に願っています。R4年には温水プール建設の署名9213筆が市民から提出されています。 地球温暖化に影響されずに、小中学校のプール授業や、子供の泳力が育つ。障害者や高齢者のリハビリ、介護予防、医療費の削減。赤ちゃんから高齢者まで全世代で利用でき、コミュニケーションや交流の場となる。 雪の多い冬でも運動ができ、年間利用できる等、温水プールは生涯スポーツの環境づくりには最適の施設だと思います。第三次総合計画で、ぜひスポーツ環境づくりの、施設、場づくりに取り組んでほしいと思います。ひとり一人が笑顔になり、幸せを実感できる魚沼市になる様に願っています。	温水プールの建設を望んでおられるようですが、基本構想・基本計画において個別・具体の施設建設計画を表すことはできかねます。 スポーツ環境づくりについては、近隣自治体施設も含めて既存施設を効果的に活用しながら推進することとしています。	V
6	第3編 第1章 1 子育て・教育・文化	文化については、文化会館があることから、「身近な場所で質の高い・・・」という表現がされています。スポーツについても「身近な場所	これまでに整備した施設の維持管理に莫大な費用を要するため、新たな施設の建設については慎重な検討が必要です。	V

No.	箇所	意見の概要	市の考え方	反映状況
	(4)文化・スポーツ (P21)	で・・」という表現ができるよう、積極的に施設整備について触れてほしいです。魚沼市が誕生して20年～30年の長期計画であることを考えると、今までのようにあるものを使うという発想からの転換も必要だと思います。	人口減少が続く中にあるのは、今ある施設を効果的に大切に使うという発想がより必要になってくるものと考えています。	
7	第3編 第1章 3 安全・生活・環境 (3)都市計画・住まい (P31)	人口減少社会に踏まえて、施策として「コンパクトなまちづくり」が記載されています。「魚沼市立地適正化計画」が公表されていますが、この言葉を「知っている」「理解している」市民は少数です。認知と推進の拡大が必要です。コンパクトなまちづくりは、財政事情から「一体で推進する」重要施策であると思います。	ご指摘のとおり、「コンパクトなまちづくり」は将来を見据えた重要な施策です。現在「魚沼市立地適正化計画」を策定・公表しており、引き続き市民への周知を図るとともに、理解の促進と推進に努めていきます。	Ⅳ
8	全ページ	内容ではありませんが、「ひとり一人」の表記が気になります。説明会場での質問に対してどういう表記でもいいという回答でしたが、「一人一人」「一人ひとり」「ひとりひとり」ならなんでもいいですが、「ひとり一人」は見たことがあります。特別な意図がないのであれば一般的な表記の方がよいと思います。	「一人一人」「一人ひとり」が一般的な表記であることは承知していますが、本計画では将来目指す姿として「ひとり一人の笑顔がかがやき、幸せを感じられる魚沼市」と表現することで、柔らかに親しみやすい印象を持たせる意図があり、本文中も含めてこの表記に統一しています。	Ⅴ
9		団塊世代が75才以上になり高齢が増えていきます 南山荘が改築していますがシニア向き集合住宅やシニアシアハウスなどふやしてほしい 1人利用、夫婦利用住宅です 子もたず、子供が田舎に帰らない 子供が嫁いで持家があり処分したい 墓の処分も（墓じまい）整理して頭をかるくして死にたい 上記をする事で空家がへり孤独死もへる 入居時には葬儀代預りするとかいろいろ条件をつける シニアむけ住宅が多い市町村へ視察に行くと	基本構想・基本計画において、個別・具体の施設建設計画を表すことはできかねますが、高齢化の進行に伴い、単身や夫婦のみで暮らす高齢者が増えており、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりが一層重要になっていると認識しています。本計画においても「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」を高齢者福祉分野の目標に掲げています。	Ⅲ

No.	箇所	意見の概要	市の考え方	反映 状況
		か 6ヶ町村が合併した時、空いている建物再利用して住宅にするとか？ 以上 希望意見します		
10		「消費者教育の推進」の一文を表記 近年、高齢化、グローバル化、デジタル化等々経済の仕組みの変化や規制緩和の流れの中で消費者を取り巻く環境が大きく変化しています。消費者トラブルが多発し、その内容も複雑化、高度化しており、成人年齢が18歳に引き下げられたこともあり消費者教育の重要性が高まっています。 とりわけここ20年顕著です。国の施策に鑑み是非表記をお願いします。	消費者教育については、ご意見を参考に、関連する施策分野の実施計画を策定する段階で具体的な取組を検討していきます。	V

※該当ページ順